

夢とビジョンの持てるまちづくり

平成26年度当初予算 総額350億円

区分	平成26年度 予算額	伸率 (%)
一般会計	216億6,700万円	16.7
特別会計(14会計)	113億6,475万円	8.3
国民健康保険事業勘定	43億6,684万円	△0.3
国民健康保険診療施設勘定	3億2,961万円	3.9
奥屋内へぎ地出張診療所	575万円	5.9
後期高齢者医療	4億7,949万円	△0.8
下水道事業	10億4,250万円	53.0
と畜場	3億3,370万円	43.2
幡多公設地方卸売市場事業	1,299万円	137.5
住宅新築資金等貸付事業	132万円	27.3
鉄道経営助成基金	4億46万円	0.1
農業集落排水事業	4,957万円	1.6
幡多中央介護認定審査会	663万円	△1.4
介護保険事業勘定	36億7,877万円	2.3
簡易水道事業	6億4,202万円	109.9
園芸作物価格安定事業	1,510万円	△46.3
企業会計(2会計)	39億2,891万円	40.6
水道事業	7億3,536万円	13.3
病院事業	31億9,355万円	48.9
合計(各会計間の重複額除く)	349億5,612万円	17.0

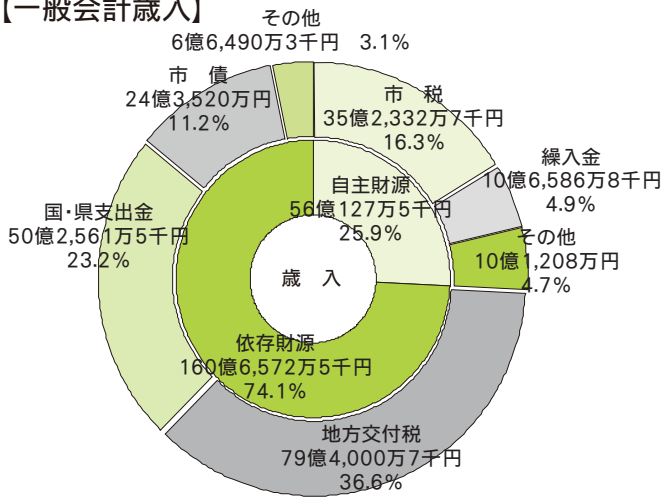
■概要

平成26年度当初予算は、若者をはじめ市民一人ひとりが、住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを目指し、「夢とビジョンの持てるまちづくり」をテーマに、事業の厳選・重点化を図りつつ、必要なものは当初予算に計上するという基本に立って予算編成を行いました。

その結果、前年度が市長改選期であったこと、平成24年度3月補正予算で国の補正予算を活用し、当該予算を前倒しして予算を計上したこともあり、一般会計で前年比16.7%と大幅な増額となりました。

予算規模は、一般会計で216億6700万円、特別会計(14会計)で113億6475万円、企業会計(2会計)で39億2891万円、各会計間の重複を控除した総額は349億5612万円となります。

【一般会計歳入】

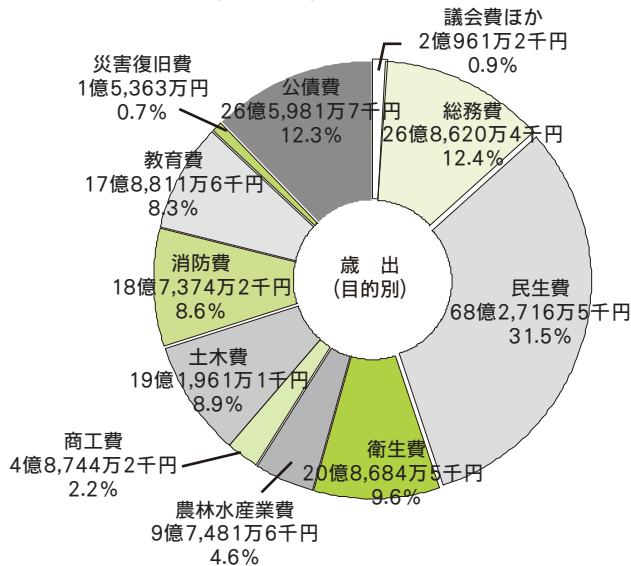


■一般会計

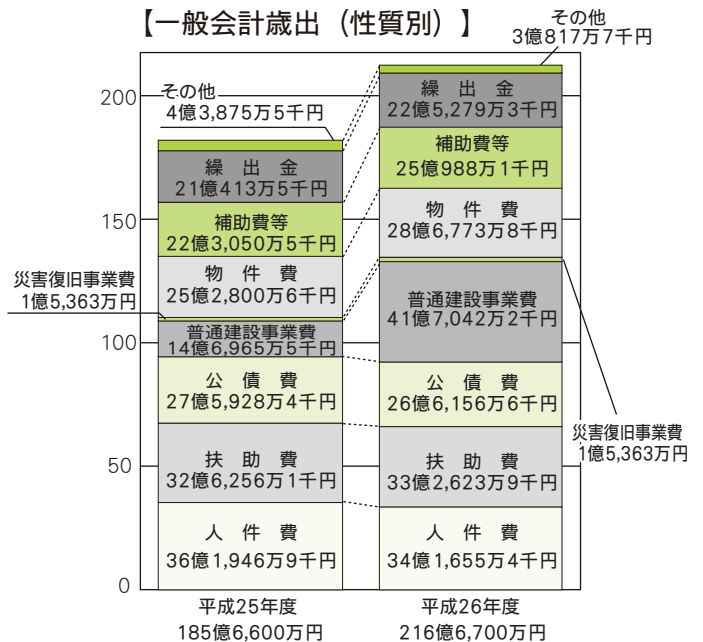
義務的経費である人件費、扶助費、公債費の合計は前年度比2.5%の減となっています。

普通建設事業が前年度比18.3.8%の大幅な増となっています。その結果、前年度予算で実施予定だった事業を平成24年度に前倒しして計上したことなどによるものです。国や県と連携して整備する道路改良事業、地震・防災対策事業などに予算を重点的に配分し、地域経済の活性化を図ります。

【一般会計歳出(目的別)】



【一般会計歳出(性質別)】



※【新】は今年度新規の事業

産業の振興と雇用の創出

【新産業振興計画策定】211万5千円
県の産業振興計画と方向性を合わせた「四万十市産業振興計画」を策定します。

【新産業振興推進総合支援】1500万円
商品の生産段階から販売段階までの取組や観光産業の振興に資する取組を総合的に支援します。

【新コンタクトセンター誘致】3679万3千円
休校中の田野川小学校を活用した企業誘致を行うことで約50人の新規雇用を創出します。

【道の駅情報発信拠点施設整備】4475万5千円
西土佐地域の農林水産物や加工品、観光資源などの地域資源の販売、情報発信の拠点施設として道の駅を整備します。

【緊急雇用創出臨時特例基金事業】
（地域人づくり）10事業 9600万円
失業者の就職に向けた支援を行います（新規の失業者のべ20人雇用予定）。

【新緊急雇用創出臨時特例基金事業】
（起業支援型雇用創出）22事業 3億5561万7千円
10年以内に立ち上げた企業を支援します（新規の失業者のべ131人雇用予定）。

【新集落活動センター活動支援】1220万1千円
西土佐大宮地区の集落活動センターの整備および活動を支援します。

交通インフラの整備

【公共交通の維持】1億4518万4千円
土佐くろしお鉄道株に対する経営助成、高知西南交通株に対する路線運行バス運営費補助、デマンド交通運行などを継続して実施します。

【道路整備】11億1050万円
防災・安全社会資本整備交付金事業、刃地対策、市単独道路整備などを行います。

【新国道441号整備促進対策】1480万円
中半・口屋内工区のトンネル残土の処理用地を確保し、国道441号の早期改良を図ります。



2月に開通した国道441号網代バイパス

地域防災力の向上

【都市防災推進事業】10億7116万5千円
津波避難路、八束および下田地区の防災拠点基地、防災行政無線、耐震性貯水槽、八束地区の防災コミュニティセンターなどの整備を行います。

【地震津波対策事業】8111万円
業務継続計画の策定、西土佐大宮地区の臨時ヘリポート整備、防災センターおよび竹島防災コミュニティセンターの太陽光発電装置設置などを行います。

総合支所・消防分署庁舎建設事業

【3億9552万2千円】
防災拠点としての機能を備えた総合支所を整備します。

【新福祉避難所指定促進】240万円
福祉避難所に指定予定の介護老人福祉施設および障害者支援施設各1箇所を避難生活に必要となる物資・器材の購入費用を支援します。

【新災害時医療救護所体制整備】700万円
市内の5救護所に災害医療に必要な備品を整備します。

【消防団員報酬】2618万9千円
従来への報酬に加えて火災時などの出勤に対する報酬を新設し、消防団員の処遇改善を図ります。

【小型動力ポンプ付積載車整備】1768万2千円
東山分団および黒尊川分団の消防ポンプ車を更新し、消防体制の充実を図ります。

【防火水槽設置】2423万7千円
具同地区、不破地区、中半地区に防火水槽を設置します。

子育て支援対策

【新給食センター整備事業】2069万3千円
中村地域における中学校給食実施に向けて給食センターを整備するための地質調査および実施設計を行います。

学校施設耐震化事業

【3億6132万4千円】
下田、東中筋小学校の体育館改築工事、中村、西土佐中学校の体育館改築工事に係る地質調査および実施設計、中村南、利岡小学校、中村、後川、中村西中学校の窓

ガラス飛散防止対策を行います。

新中村幼稚園施設整備補助

【4155万3千円】
幼稚園型認定子ども園への移行に向けた、保育所機能部分の整備に対する補助を行います。

【保育所耐震化事業】1312万3千円
中筋保育所の耐震補強工事に係る実施設計、愛育園、あおぎ、竹島、藤岡、具同、川崎、本村保育所の窓ガラス飛散防止対策を行います。

新子育て世帯臨時特例給付金

【4440万8千円】
消費税率の引き上げによる影響を緩和し、子育て世帯の下支えを図る観点から、対象となる児童1人につき、1万円を給付します。

語学指導を行う外国青年招致

【1866万9千円】
現在3名の外国語指導助手を5名に増員し、児童生徒の英語力向上を図ります。

新辞書活用学習推進モデル事業

【138万3千円】
小学3年生、中学1年生にそれぞれ国語辞典、英和・和英辞典を支給し、共通の辞書を活用した学習により学力の向上を図ります。

持続可能な財政運営

【総合計画策定】707万円
まちづくりの基本的な方向性を定め、総合的かつ計画的な行政運営の指針となる計画を策定します。

行政改革の推進

行政組織の見直しや事務の効率化を検討し、諸経費の徹底した節減を行います。

市政

教育

くらし

情報掲示板